



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

決勝レポート

2020/9/27 Rd-2 岡山国際サーキット

天候：晴れ 気温：25°C 出走台数：19台

観客数：26日(土)2,000人 27日(日)3,500人 合計5,500人

心配された台風の影響もなく、清々しい秋の天候の下、予選と決勝を同日に開催するワンデー開催として、第2戦岡山国際サーキットを迎えた。

今回Rd2岡山戦のレースフォーマットは、タイヤ交換義務付けとなり、51周のレース中、トップが10周目の第1セーフティーカーラインを超えたところからファイナルラップまでにピットインして、タイヤ4輪交換を行わなければならない。

フォーメーションラップ中にスピンした車両が発生したため、スタート進行はやり直し。

1周減算の50周で争われることとなった。

山本選手7番グリッド、福住選手は16番グリッドからスタートした両選手は、1コーナーの多重クラッシュによる混乱をうまく切り抜け、山本選手5番手、福住選手13番手で走行。このクラッシュにより、セーフティーカーが導入され、7周を終えたところでレースは再スタートする。10周目を迎え、初めにピットに入ったのは山本選手。翌11周目には福住選手もタイヤ交換を終え、戦略の違うライバルとの、100分の1秒を削る神経戦が続く。トップグループとのタイム差を意識しながら、山本選手7番手、福住選手は大きくポジションを上げて8番手で走行を続ける。山本選手は終盤に関口選手との激しいバトルを繰り広げるが、これを制することは出来ず、山本選手は6位。福住選手は8位までポジションを上げ、共にポイントを獲得して第2戦を終えた。

5：山本選手 6位 (HONDA勢1位)

スタートはとてもよく、1コーナーのクラッシュにも巻き込まれませんでしたが、アウト側にいたため行き場がなく、イン側の車両に抜かれてしまいました。セットアップはとても良かったので、必死でプッシュし続けましたが、トップグループとの差は思う様に縮まらなかったです。しっかりとレースを戦い、ポイントを獲得し、良い部分も反省点も多く得ることができました。菅生までの時間をチームと共に有効に使って、次戦菅生に臨みます。

6：福住選手 8位 (HONDA勢2位)

スタートの混乱うまく処理でき、タイヤ交換前後の戦略も上手くいって8番手までポジションを上げられたのは良かったです。ただ中盤以降は、思う様にタイムを上げられず、トップ集団に追いつくどころか、後方から追い上げられる展開で苦しかったですね。スタート位置を考えれば、少しでもポイント獲得できたことはポジティブに感じていますが、全体的にまだまだポテンシャルが足りていません。我々が持つ本来のパフォーマンスを取り戻して、次戦に向けて準備します。